

# 岡山県・兵庫県で出前講座を開催しました

防災砂防課と都市計画課では、南海トラフ地震など今後大規模災害が想定される各自治体に出向き、本県が東日本大震災からの復旧・復興事業で得た経験や教訓を伝承する出前講座を実施しており、今回は「岡山県」と「兵庫県」にて開催しました。

## 岡山県

【開催年月日】 令和6年12月17日（火）  
【開催場所】 岡山県立図書館  
【参加者】 県・市・町職員 49名

## 兵庫県

令和6年12月19日（木）  
兵庫県教育会館ラッセホール  
県・外郭団体職員 56名

講座は三部構成で行い、東日本大震災の概況や復旧・復興事業の概要、入札不調対策など早期復旧に向けての取り組みや初動対応、本県が行った復興まちづくりの方針・考え方について説明しました。また、会場内では、当時の派遣職員の方々が担当した事業の完成状況や、復興まちづくりの状況を伝える復旧・復興パネル展を行いました。

参加者アンケートには、ほぼすべての方が事前防災対策の「参考になる」と回答したほか、「今後もこのような出前講座を受講したい」、「若手職員に受講させたい」という回答をいただきました。

引き続き、東日本大震災の被災経験や教訓を、各自治体の災害対策に活かしてもらえるよう、取り組みを継続していきます。

## 岡山県



## 兵庫県



【受講後のアンケート(一部抜粋)】

「岡山県職員から」

- 聞いてみたい内容
- ・ 対応に当たった職員個人としての思いや体験談をもう少し聞いてみたい。
- ・ 多くの職員及び家族等が被災している中で、発災直後の対応状況等について、お話いただきたい。
- ・ みなし仮設住宅の他に、公営住宅への避難者の受入れまでの流れや課題について聞いてみたい。
- 感想・意見
- ・ 実際の対応やその時の気持ちなどリアリティーがある話を聞き、同じ地方公務員として災害への備えや心づもりをきちんとしておくことの必要性を再認識した。
- ・ 生の声の重みはとて大きく伝わり方が違う。これからも可能な限り取り組みを続けて欲しいと思う。
- ・ 大変な労力を要するとは思いますが、今後ともこの有益な講座を是非とも継続いただき、超大規模災害への対応ノウハウの伝承や、10年後、20年後の宮城県の復興状況の振り返り等についても、引き続きご教示いただきたい。

「兵庫県職員から」

- 聞いてみたい内容
- ・ 国・県・市・町の各事業が輻輳する中で、事業(工事)間調整が大変であったと思うがどのように行ったか聞いてみたい。
- ・ 大規模地震の備えにあたり、発災前に準備しておけばよかったことや、庁舎での備えや備蓄しておくべき機能や物品等について聞いてみたい。
- ・ 災害査定の保留解除で課題となったことを聞いてみたい。
- 感想・意見
- ・ 実際に被災された職員による講演は迫力があり実感が伴っており、大いに役に立った。
- ・ 震災復興における取組や課題、事務所からの避難の話など貴重な体験を聞くことができ、南海トラフへの備えを考えるきっかけになった。
- ・ 苦しい経験をされて話辛いことも多々あると思うが、出来る限りで良いので、この取り組み継続し経験を風化させないようにしてほしい。

etc...



明日につなぐ×ミヤギの未来  
宮城県土木部

3.11   
伝承・減災プロジェクト